

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校  
学校だより

# 感じて動く

文責：校長 高木 修  
令和6年1月25日 No.21

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

## ◆ 臨時休業



1月23日（火）夕方から24日（水）朝にかけて、大雪及び暴風雪の予報となったため、24日は市内全小・中学校が臨時休業となってしまいました。当日朝、外を見てみると、思った以上に雪が積もっていて、臨時休業も仕方がないかと納得しながらも、子どもたちは雪遊びがしたかったかなとちょっと残念な気持ちにもなりました。

朝から、右の写真を撮りながら、そういえば去年も同じように雪が降った運動場の様子を写真に撮ったなと思い出し、確認すると、何と、まったく同じ24日が臨時休業となっていました。「大寒」あたりが1年で最も寒い時期だというのは本当だなと改めて感じました。あっという間に過ぎていく貴重な3学期の1日ですので、今後また臨時休業とならないことを願うばかりです。風邪やインフルエンザも心配な時期です。健康管理にも十分気をつけて、元気に過ごしてほしいと思っています。



## ◆ 「ふるさと学」発表会

玖島中学校区の4校（玖島中、三浦小、鈴田小、大村小）は、長崎県教育委員会の研究指定を受けて、「小中高が一体となったふるさと教育推進事業」に取り組んでいます。今年度は、研究主題を「ふるさとのよさ

を知り、つくる小学生、ふるさとのよさを創り、拓く中学生」として、小・中が連携して系統的に地域についての学びを深めていけるよう、カリキュラムの整理や見直し等を進めてきました。

23日（火）には本事業の一環として、玖島中学校にて4校合同での『「ふるさと学」発表会』が開催され、本校からは、6年児童5名が代表で参加しました。そして、実践発表では、校区の観光スポットである「大村公園」に焦点をあて、未来の大村市の姿を「自然を活かして 公園が人で賑わう街」と設定し、1年中、観光客が訪れる公園にするための提案をしました。市内外の先生方も参観される中、5名とも堂々と落ち着いて発表することができました。また、その場で出された質問に対して、しっかりと答えることができたことにも感心しました。午後からは、6年生全員で、「くしまルシェ」にも参加しました。これは、玖島中2年生が企業体験活動として立ち上げた5つの会社が、それぞれに企画・作成した商品を販売する場で、研究主題の中の「ふるさとのよさを創る」部分に当たります。中学生の先輩方が生き生きと活動する姿は、6年生にとっては、とても輝いて見えたと思います。連携のよさを感じた1日となりました。

## ◆ グローブ届いています

大谷翔平選手寄贈のグローブが、1月18日（木）に届きました。まずは子どもたちに触ってもらおうと思い、今、高学年から学級ごとに貸し出し中です。ありがたく活用させていただきます。

